



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2930 回 第 33 例会
2017 年 3 月 10 日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R I 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行（目次）

- P 1 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告、来訪者挨拶
- P 2~3 会長エレクトセミナー報告
- P 3~4 環境保全委員会卓話
幸野溝土地改良区事務局長 富田道孝様
〇〇〇・R財・米山・人吉奨学寄付カード

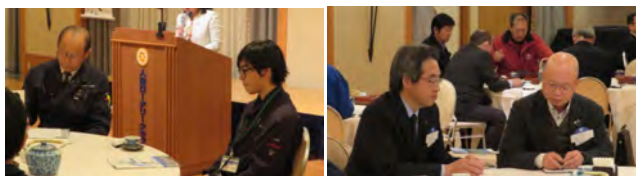
点 鐘 本田 節 会長

歌 唱 ツッパグー 下田 SAA 委員長

国歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「それでこそロータリー」

司会・進行 石蔵尚之 〆ガム委員長

来訪者紹介 本田 節 会長



幸野溝土地改良区 人吉中央 R C
事務局長 富田道孝 様 会 長 宮原正名 様
書 記 山村涼太 様 副幹事 平野隆三 様

会長の時間 会長 本田 節

明日3月11日で東日本大震災から丸6年目となります。まだ仮設住宅に居る方や復旧復興ができていない地域もあり、まだまだ時間が掛かりそうです。私達は昨年の熊本地震を体験し自然災害の怖さを教訓として、決して風化させてはならないと思っております。

さて、いよいよ今週の月曜日から創立60周年記念事業のキャラバンがスタートいたしました。本日は提唱クラブでもある熊本ロータリークラブに中川実行委員長、伊久美パスト会長を始め6名でキャラバンに行ってください。先程メールで実行委員長から全員登録していただくと

いう大変嬉しい報告でありました。是非会員の皆様もできるだけキャラバンに参加をしていただき、全員で60周年を盛り上げていただければと思っております。キャラバンで各クラブを訪問する時に例会のあり方もそれぞれクラブによって特徴があり、多くの学びとロータリアンの友情と好意を深めることができ、私自身にとっても大変有意義なキャラバンであります。また改めて伝統ある人吉ロータリークラブに在籍していることを誇りに思える場面でありました。

本日、ご来訪いただいております人吉中央ロータリークラブの宮原会長、平野副幹事ようこそおいでいただきました。先日お邪魔させていただいた時の卓話者は人吉ローターアクトを昨年卒業された人吉森林組合に勤務されている真鍋さんでした。卓話のテーマが“G空間とICT活用スマート林業について”という先端の林業経営についてでした。人吉球磨は林業や農業を経済基盤とした地域でありますので大変興味深く勉強にもなり、何よりも成長していくローターアクトの皆さんを頼もしく思える一時でありました。卒業されるローターアクトの皆さんとも今後第2720地区でもEクラブが認証されると言うことでありますので是非、引き続きロータリーとの縁を繋いでいって欲しいと思えました。

また、昨夜第6グループ第5回の会長幹事会が多良木ロータリークラブの幹事である中村春喜様の福寿庵にて開催されました。次年度ガバナー補佐の多良木ロータリークラブの味岡栄会員や会長エレクト幹事も合同で大変賑やかに親睦を深めることができました。これも当クラブの片岡ガバナー補佐や、水野ガバナー補佐幹事のご尽力のお陰だと感謝申し上げます。

人吉中央ロータリークラブの宮原会長が釣られた15キロのカンパチのフルコースで大変贅沢な美味しいお料理で話題満載でありました。

最後に今月は“水と衛生月間”となっておりますので月間に合わせた卓話として、幸野溝土地改良区事務局長、富田道孝様と書記の山村涼

太様に卓話をお願いしております。

皆さんもご存じのように幸野溝は世界かんがい施設遺産に登録されました。今から300年以上前、度重なる失敗にもめげず、血の滲むような努力により球磨地方の農業の大動脈幸野溝を完成させた人物である高橋政重公のお話が聞けると思います。先人達の偉業がこの人吉球磨を豊かにし、今日があるということを改めて再認識をし、水の大切さに感謝したいと思っております。まさに、高橋政重公の人生はロータリーの目的でもある社会奉仕そのものであったと思います。

幹事報告

幹事 葉山稔洋

- ・家庭の日啓発ポスターの掲示の依頼が届いております。漆野青少年奉仕委員長にお渡し致します。
- ・会員増強のためのアンケート調査が届いておりますので次年度会員増強委員長にお渡し致します。
- ・人吉医療センターから月刊誌「翔」2月号が届きましたので回覧します。
- ・竹田RCより創立60周年記念の案内が届きました。日時は6月4日14時からで締切は3月末となっております。
- ・2017年国際ロータリー年次大会(アトランタ大会)参加旅行案内が届いております希望される方は、事務局までお尋ね下さい。
- ・八代RCと指宿RCから週報が届いておりますので回覧致します。
- ・熊本西南RC例会変更の案内が届きましたので掲示板に張っておきます。

出席率報告

委員長 内藤靖雄

会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	4名	75.0%	
欠 席 者 数	15名	2 / 2 4 出 席 率	78.33%
出 席 者 数	45名	補 填 数	5名
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	86.67%

*届け出欠席 中川・伊久美・有馬・安達・岩下・岡・中村
田上・大野・外山・青木・友永・村山・戸高
新堀

*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 釜田, 齊藤

*メークアップ 台北稲江RC30周年式典; 伊久美
熊本RC; 堤正博 えびのRC; 山口
人吉中央RC; 武末・永尾

【来訪者挨拶】

人吉中央RC
会 長 宮原 正名 様
副幹事 平野 隆三 様



ご来訪ありがとうございました。

2017~18年度

会長エレクト研修セミナー報告

期 日 : 2/25(土)~2/26(日)

場 所 : くまもと県民交流館 パレア

会長エレクト 井手富浩



会長エレクト研修セミナーは通称「P E T S (ペッツ)」と呼ばれプレジデント エレクト トレーニング セミナーの省略形です。文字通り、地区内各クラブの会長エレクトの為の研修・教育を行う情報提供プログラム

です。目的は、会長エレクトが次年度の役割に備えることと、ガバナーエレクトや次年度ガバナー補佐と懇親を深くし、次年度に向けて意欲を高め、情報を収集して、相互の協力関係を築くことです。

永田壮一ガバナーエレクト主催、小山康直次年度地区研修リーダーを筆頭とする 地区研修委員会 (中川貴夫、作守順子副委員長) の企画・運営の元、2日間 (懇親会を含む9時間以上) のセミナーで、永田ガバナーエレクトの国際協議会報告及び次年度の地区方針、それをうけての各地区部門長 (青少年奉仕、管理運営、公共イメージ、会員増強、社会・国際奉仕、ロータリー財団、米山記念奨学会、職業奉仕) の現状と方針、クラブの健康チェック、親睦交流会、目標設定、地区運営、「会員増強と公共イメージ」についてのディスカッション (アイデア交換) 地区グループ会議等、密度の濃い、次年度に向けての覚悟を促す2日間でした。

地区部門については、4/9 (日) の地区研修協議会で、当クラブ次年度委員長出席の元、具体的な報告をして頂きますので省きますが、永田ガバナーエレクトよりのRI会長テーマ、ガバナー地区スローガン及び方針について御伝えしたいと思います。

まず、RI2017~18年度、イアンH.S ライズリー会長のテーマは、「ロータリー：変化をもたらす」です。意味を考えますとコロンのどという助詞を置くかによってニュアンスが変化します。

1. ロータリーが変化をもたらす。→世界の助けを求めている人々の生活に変化をもたらす。
2. ロータリーに変化をもたらす。→多くの地域が平和になることによってロータリーに変化をもたらす。
3. ロータリーと変化をもたらす。→ロータリーと共に歩むことによって私たちロータリアンの生活も変化していく。

ライズリー会長の、このコロンの込められた意味を皆様も共に考え、感じて下さい。

このRIテーマを受け、永田ガバナーの地区スローガンは、「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」です。「ロータリーを奨励する」こととは、2016年規定審議会の決議により、国際ロータリーはダイナミックな転換点にあります。RIの意図を理解しましょう。RIは決して本来の目的から逸脱することはありません。五大奉仕の心理は些かも崩れることはありません。「ロータリーを楽しむ」ことは、ロータリアンがロータリーの意図を理解し、奉仕活動に参加し、地域社会や国際社会の人々を笑顔にすることです。

ロータリーは、クラブで育んだ友情のもと、知識欲を満たし、利他の心を持ち、人生を謳歌することだと思えます。皆さんと一緒に人生謳歌できるようロータリーを楽しみましょう。

永田ガバナーはこのスローガンの元、具体的な目標・地区方針を示されました。まず、

クラブ目標

1. 会員増強 女性/40歳以下の若い会員の各クラブ純増1名以上
2. マイロータリーを通してロータリークラブ・セントラルへのアクセスを
3. 戦略計画委員会の設置
4. クラブ研修リーダーの設置 ロータリーリーダーシップ研究会への参加
5. ロータリー財団・年次寄付 10%
6. グローバル補助金・地区補助金プロジェクトへの参加
7. ポリオ撲滅運動への参加 募金活動など
8. 会員基盤の強化 クラブ内ロータリー研究会の実施
9. 青少年奉仕事業へ参加しましょう
10. 会員賞にノミネートしましょう

ロータリアンの目標

1. マイロータリーに登録しましょう 地区目標 50%
2. 奉仕活動に参加しましょう
3. 各種セミナーに参加しましょう

以上、永田ガバナーの地区スローガン・地区方針に基づき、これから3ヵ月余の期間で、当クラブのテーマ、方針、各委員会等、次年度の具体的な計画を策定してまいりますので、皆様の御協力の程、宜しく御願ひ申し上げます。

【環境保全委員会】 水と衛生月間

講師紹介 石蔵尚之プログラム委員長

幸野溝土地改良区事務局長

富田 道孝 (とみた・みちたか) 様

昭和31年10月12日生まれの現在60歳。在職40年の間、幸野溝土地改良区の活動を通じて地域に貢献されております。幸野溝は百太郎溝と共に約300年前から現在まで、球磨川から取水して上中球磨地域の農地を育ててきた水路です。

その歴史あるかんがい施設の改修と保全はもとより、平成6年の大干ばつ時には迅速な区割り配水に尽力され、共助の精神を守り育まれました。また、人吉球磨地域が一体となって農地の動脈である用水路の大切さをアピールするため、平成14年に「人吉・球磨地域土地改良区連絡協議会」を結成、事務局を務められました。

このように、これまで取り組まれた土地改良事業や地域振興への貢献は多大なものがあり、今月1日に開かれました熊本県土地改良事業団体連合会第60回総会において、富田様に土地改良功績者表彰が贈られたところです。

そうして幸野溝土地改良区は、農林水産省大臣表彰や21世紀創造運動大賞などの全国表彰、また県内土地改良区では初の熊本県農業コンクールの優良賞を受賞されています。昨年11月には、インドに本部を構える国際かんがい排水委員会の「世界かんがい施設遺産」に認定されました。現在、こうした活動は人吉球磨地域の活動に広がるとともに先進的な取り組みとして全国各地から視察が相次いでいるところですよ。

外部卓話

世界かんがい施設遺産登録証伝達式経緯報告
幸野溝土地改良区事務局長
富田道孝



只今ご紹介をいただきました、幸野溝土地改良区の富田と申します。昨年4月に発生しました、熊本地震により被害を受けた地域に対しまして救援物資、ボランティア作業等のご協力いただきました皆様方に、この場をお借り致しまして改めて感謝申し上げます。

それではさっそく世界かんがい施設遺産の内容と経過報告をさせていただきます。お手元の資料の中に「国際かんがい排水委員会」通称ICIDの説明がなされておりますので、詳細につきましては省略させていただきます。

まず最初に、幸野溝・百太郎溝は皆様ご存知のとおり、約300年前に築造されたかんがい施設であり、現在、湯前町、多良木町、あさぎり町、錦町の4町にまたがる、約3,400ヘクタールの水田のかんがいに利用されており、この地域の農業を支える非常に重要な施設となっております。また、この2つの水路は、農業用水のみならず、多面的防火用水、生活・環境維持用水等の役割をもつこの施設を大事に思い、また将来に引き継ぐために、日々の維持管理はもとより、子供たちを対象とした『田んぼの学校』、『森林の学校』をはじめとした各種の啓

発活動を継続して取り組んでいます。また、春・秋には毎年、慰霊祭を開催し、高橋政重翁をはじめ、先人たちの血のにじむような苦勞に対し、地域の方々と一緒になって、敬意と感謝を表しています。

このように維持管理活動や、啓発活動を永年続ける中、平成26年度に、世界かんがい遺産制度が創設されました。県内でも山都町の通潤橋が最初に認定されたこと聞き、「私たちの施設もチャレンジできるのではないか、やってみようか」と両土地改良区で話し合いを行い、平成27年6月に取り組みを開始したところです。

こうして始まった申請の取組でございますが、さすがに『世界』と名のつく制度にふさわしく、申請作成には大変苦勞致しました。

①申請をするための要件はそろっていたのですが、申請書様式への取りまとめ作業が大変だったこと。

②申請書作成には相当な期間が必要だったこと。

③日本語での提出のほか、英文による申請が必要だったこと。

このように申請のハードルが高く、『こらあ〜どうぎゃんしょうか』と思っておりましたところ、たまたま県内の土地改良区職員の中に、英語に精通された方がおられましたので、お願いを致しました。といいますのも、樋門、ぬき、堰などの専門用語が出てきますので、土地改良区になじみのない一般の方では難しいと思ったからです。それと、自分達、土地改良区の力を結集して申請したかったからです。

これらの問題を熊本県をはじめ、土地改良区の仲間たち、また関係機関の皆様からの指導、助言を頂きながら、皆で加筆修正作業を繰り返して、締め切り当日によりやく完成し、このような試行錯誤の結果、平成28年3月7日付けで「国際かんがい排水委員会」あてに、両土地改良区理事長の連名で提出することができました。申請まで、約4カ月を要したわけでございます。

その後、ICID日本国内委員会の厳正なる審査を5月に通過し、7月に先程ふれました英文による申請を行って、昨年11月8日に、タイ王国のチェンマイにおきまして、国際執行理事会が開催され、正式に世界遺産に登録が決定しました。そして12月14日に農林水産省におきまして、伝達式が行われました。『幸野溝・百太郎溝水路群』が評価されたポイントは3つです。

①建設から100年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの

②建設当時としては驚異的かつ卓越した技術の模範となる施設であること。

③地域における食料生産強化、生計の向上、農村発展、貧困削減 に大きく貢献した施設で

あること。 などです。

とりわけ、江戸、明治、大正、昭和、そして平成の今日においても、300年以上も水を流し続け、維持管理を行っているということが、世界的にもまれで、高く評価されたことが世界遺産の対象につながりました。

両施設の概要につきましては、DVDでまとめてみましたので、この後紹介させていただきます。

最後になりましたが、今後は、この世界遺産登録を絶好の機会と、とらえ、日本遺産事務局と連携して、農家のみならず、地域住民の方々に、地域の宝であるこの両施設をしっかりとPRし、施設の維持管理はもとより、地域振興に貢献してまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様方のご支援をよろしくお願い致します。

以上、世界かんがい施設遺産の登録に至る経緯につきましてご報告をさせていただきました。

【寄付カード】ニコニコ箱委員長 竹長一幸 (ニコニコ箱委員会)

・人吉中央RC宮原正名会長 私共人吉中央RCも貴クラブ60周年記念事業を心よりお祝いすると共に御協力申し上げます。久々のメイクアップをします。訳は聞かないで下さい。

・人吉中央RC平野隆三副幹事 本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

・渡辺会員 宮原会長・平野副幹事のご来訪ありがとうございます。釣りの打合せをします。

・葉山幹事 本日は幸野溝土地改良区事務局長富田様、貴重なお話をありがとうございます。御先祖様に感謝しニコニコします。

・石蔵会員 幸野溝土地改良区の富田様、山村様、ふるさとの財産を再発見する貴重な時間でした。ありがとうございます。

(R財団委員会)

・本田会長 本日は富田道孝様、お忙し中に卓話をしていただき誠にありがとうございます。人吉中央ロータリーの宮原会長、平野副幹事ご来訪を心より歓迎します。

・葉山幹事 宮原会長・平野副幹事、昨夜はお世話になりました。

(人吉RC奨学基金委員会)

・片岡会員 昨日は第5回第6グループ会長幹事会が盛会にて実施されました。

点 鐘 本田 節 会長